

悪性腫瘍に対して免疫治療のため受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ 臨床研究に対するご協力のお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させていただきますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】

悪性腫瘍に対する免疫治療における抗核抗体と irAE（免疫関連副作用）の関係調査

【研究の目的】

悪性腫瘍に対して免疫治療が多用されるようになっていますが、irAEの発症は予想できないのが現状です。

肝細胞癌治療においても免疫複合治療が登場したが、肝障害の発症は肝予備能を悪化させたりして治療の継続性を阻害するだけでなく、生命予後に影響を及ぼす可能性があります。治療開始時に抗核抗体陽性者ではどのようなirAEが起こりやすいのか、またはirAEの頻度は抗核抗体の状況によらず差がないのかいまだ明らかではありません。

また、一部の肝臓医は抗核抗体陽性者に対しては免疫複合治療を回避しているというアンケート結果もあり、もしirAEの発症頻度に差がないのであれば患者の治療機会を消失している可能性もあります。そのため免疫治療前の抗核抗体の状況とirAEの発症との関係を明らかとする必要があります。

【対象となる方】

当院で 2016/1/1～2021/12/31 までに免疫治療を初めて受けた患者さん

【使用する検体・診療情報】

●利用する情報

性別、年齢、身長、体重、薬剤名、治療対象疾患、併存疾患、免疫治療開始前の院内規定の治療前の確認採血検査。

【研究期間】

愛媛県立中央病院長許可日～2022年12月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院

消化器内科 主任部長 平岡淳

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院

消化器内科 主任部長 平岡淳

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136